

Come ride with us.  HONDA

NSR 250R
NEW



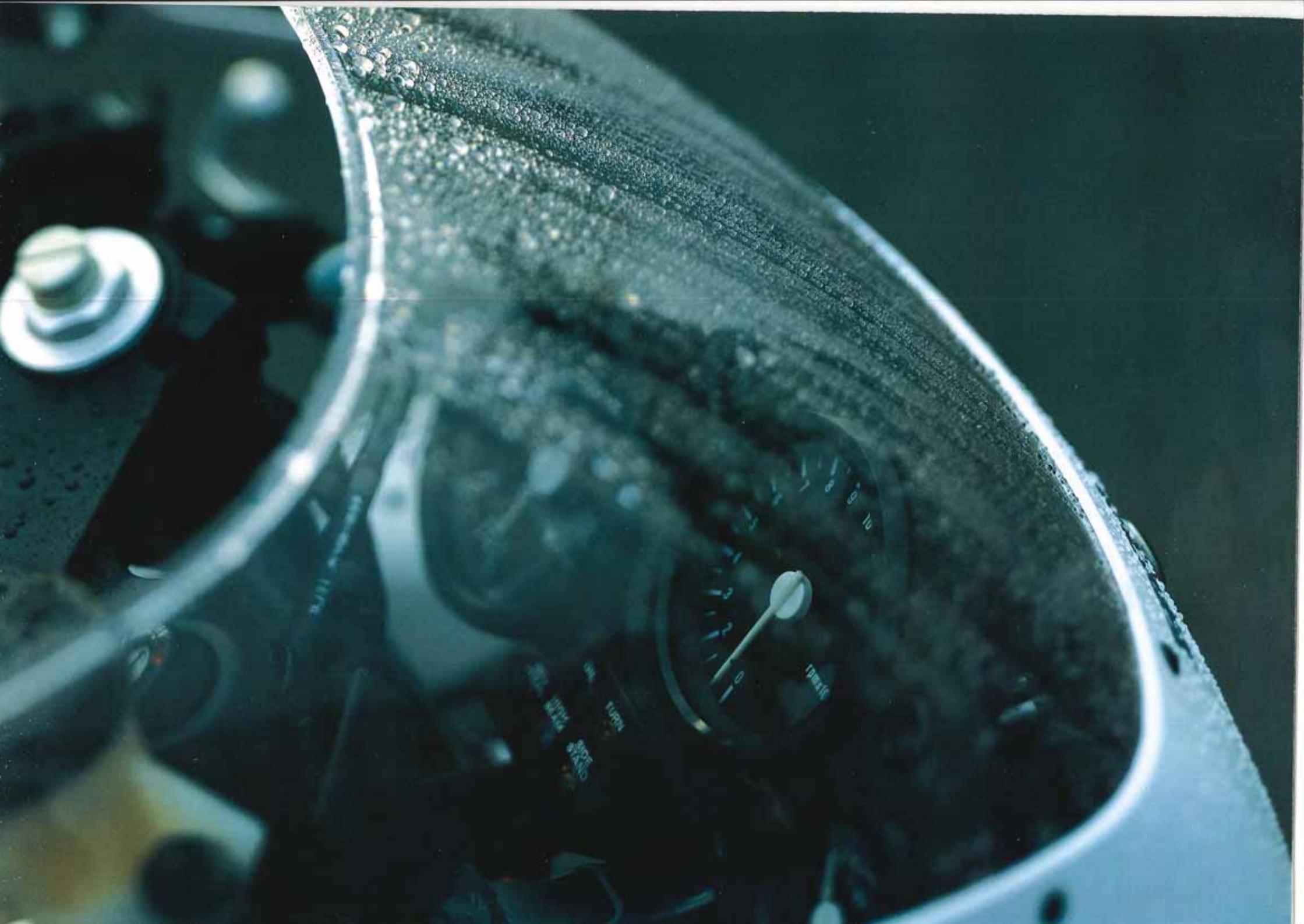


ほんとうの楽しさを、見つけてください。

PROSPEC 90's

跨ったときの、身体にしつくりと馴染む感触にまず好感を抱いた。第一印象が全体のイメージを左右するとは限らないが、何せマシンは'90年のNSR250R。いやが上にも期待は高まる。充分に暖機を行った後、走りだす。ストレート、コーナー、共に感じとれる軽快感、しつかり感。さらにしなやかさ。そこにはレースマシンの持つ「ダイレクト性」をベースに、乗っていて安心感につながる幅広い許容性を加えた確かなテクノロジーの存在を感じてくれる。つまり路面状況がそのままストレートにライダーに伝わってくる過程をレーシングマシン独特のものとするなら、NSRはまず路面状況を分析し、明確に整理した情報としてライダーに伝えてくれる。このワンクッション(もちろん、時間にしてコンマ何秒の話だが)が、いついかなる時でもライダーに大きな安心感をもたらしてくれるのだ。とにかくタイヤを通して伝わってくる情報量の豊かさ、とりわけリアまわりの情報のつかみやすさは特筆に値するだろう。タイヤがしっかりと路面をつかんでいる感触、それが否応なく認識できる。走りだしてライダーがまず考えることは、どこまでいったら滑るのか、滑らないのかということだから、その限界をはっきりとしたかたちで提示してくれる能力の高さはやはり、NSRならではのものだろう。フロントを忘れさせてくれる、といったら大袈裟かもしれないが、スポーツマシン本来のリアステア、リア主体のコントロールの楽しさを充分に堪能できるはずだ。





興味深かったのは、やはりパワーユニット。すでに熟成の域にあるVツインだが、すべてにわたってより洗練度を増した、と言うべきだろう。特に昨年来からのNSRの主張でもある「台形パワー」の存在がより確かに感じられるものとなっており、パワー特性が明解なものになった。上の回転域が実用的に使え、何よりも低速→中速→高速のつながりがわかりやすい。つまり走っていて常にパワーカーブを想定できるのだから、これほど心強いものはない。パワーとはピークだけでは語れない、という主張が実感として体験できる。パワーのバランスが実にうまく図られているのだろう。またバランスということで言えば、全体のバランスが実にしっかりとした調和を見せているのが、'90年NSRの最も大きな特徴だ。エンジン、フレーム、サスペンション…。ブレーキの効きひとつとっても、より確かなものに感じられるのも総合バランスの高さゆえ、と言えるのではないだろうか。とにかくすべての要素が「走り」のためにまとまっている、そんな感じだ。だからこそ走り込むほどに楽しくなっていく。感性のままに走れる。自分自身がマシンをしっかりとコントロールしているのだという意識を常に持つことができるから、乗っていて楽しいし、また面白いのだと思う。走っていると、いろいろなことが試せそうな気がしてくる。それだけ、ライダーの「感性」に最も近い2ストロークマシンなのだが、ただ、このマシンに乗るライダーにはアタマではなく、カラダで乗って欲しい、と思う。マシンの挙動に気をとられすぎないことが大切だ。マシンから意識を離す、つまりマシンとライダーがストレートに対話できることが、走りに専念するということだからだ。幸い、NSRはマシンとカラダで直接、情報の交換ができるし、また、感性レベルの違いによってそれぞれ異なった感動を用意してくれる。願わくば、より多くのライダーが、より高いレベルの感動を味わってくれたらと思うのだが。

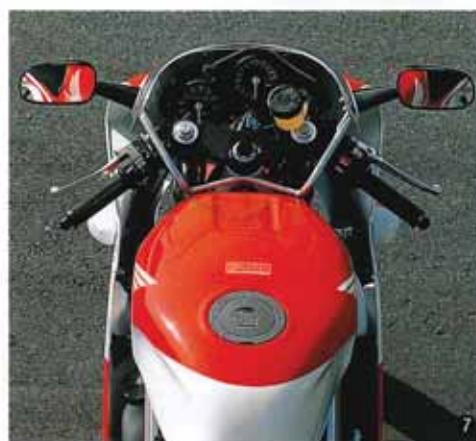




①Vツインパワーユニットのさらなる熟成・発展はもちろん、しなやかな剛性感を追究した新設計フレーム。またディメンションの検討などにより、高い総合バランス性能を獲得した。②精悍なフロントビューを彩る、新開発の超薄型・異型デュアルヘッドライト。③ワークスマシン譲りのレーシーな雰囲気を漂わせるリアビュー。理想的なチャンバーレイアウトが可能にした、段違いサイレンサーと、さらに被視認性が向上した大型ウインカーを装備。④ストリートからサーキットまで。自由度の高いライディング・ポジションを可能にする、新デザインのシート。シート高は走行安定性や足付き性の向上を図った結果、770mmと低く設定し、ピリオンシート下部には6.8ℓの大型収納スペースを設置している。⑤バックミラーマウント後方部分を透明化し、視認性をアップしたウインドスクリーン。またジュラルミン鍛造製クリップオンハンドルは、スロットルグリップトルクを1kgcm低減し、微妙なタッチのスロットルワークを可能にした。⑥ラジエーターを通過した空気を効率的に排出するため、カウル面に設けた大型エアアウトレット。⑦大径タコメーターを中心に整然とレイアウトされたメーター回り。フライヤーキャップは使いやすいエアブレーンタイプを踏襲し、フューエルコックは、より操作性の向上したボールクリックタイプに変更。⑧Vツインとしては最も理想的なレイアウトをとる、楕円状オーバルチャンバー。⑨路面追従性を向上するため新たに採用した、作動応答性に優れたカートリッジ式フロントフォークと、絶大なストッピングパワーを発揮する、Φ276mmフローティング式ダブルディスクブレーキ(前)を装着。⑩冷却効率の大幅アップを図るため採用した、ラウンド型ラジエーター。⑪レーシングテクノロジーをフィードバックした、新型サイレンサー&パイプステー。荷かけフック兼用の2段収納式ピリオンステップチリアタイヤ。⑫高剛性を誇る、新設計リアフォークの「ガルアーム」を装着。

equipment



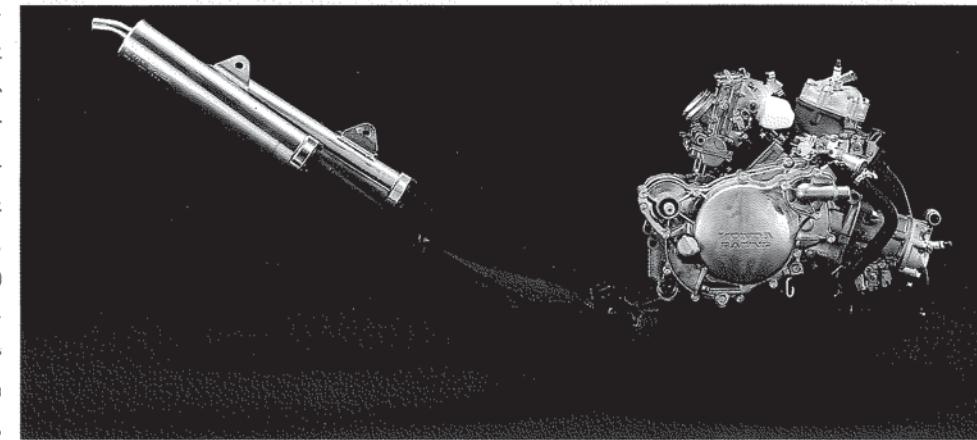
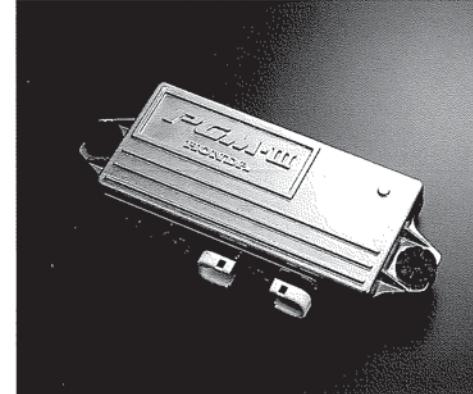
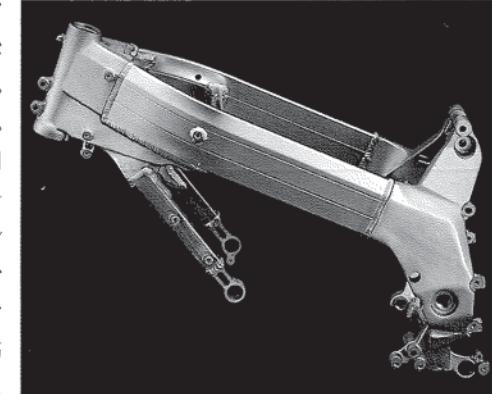


mecha-note

【エアロフォルムデザイン】250ccロードレーサー、NSR250のもつ
軽快さ、機能美、迫力などをダイレクトに継承し、空力に優れたダイ

ナミックなボディデザイン。流麗なフォルムはライダーと一緒に化することにより、さらに強調される。【NSシリンダー】フリクションロスを軽減するため、コーティングを施した高性能シリンダー。軽量かつ放熱性に優れる。【オーバルチャンバー/段違いサイレンサー】排気効率をさらにアップするために新しく採用されたもので、ワークスマシンNSR250と同じレイアウトのチャンバー。定評あるオーバル(横円)チャンバーの応用技術をはじめ、新開発・ガルアームの存在があればこそ採用することができた、V型2気筒としては理想的なレイアウトのチャンバーである。また左右非対称のレーシーな構成をとる段違いサイレンサーは、その迫力あるスタイリングと共に、内部構造を新たに設計することにより、排気騒音も低減している。

【高剛性ガルアーム】より高い排気効率を求めたチャンバーレイアウトの結果、フレーム下部にスペースを稼ぐ目的と共に、しなやかで確かな剛性確保の両立を求めて生み出されたニュータイプのスイングアーム。右側面は大きく「への字型」に屈曲し、左側面はトラス構造となっている。ワークスレーサーNSR250直系のレイアウトである。【新クロスミッション】タウン走行のみならず、サーキット走行においてもライダーの意志にダイレクトに反応するリニアリティを追究し、加速を重視して設定されたミッションレシオのこと。また、より軽快なエンジンフィーリングとの確なシフトワークを実現するために、エンジン機構を従来のポールブランジャータイプからクロウタイプに全面変更している。【新設計アルミツインチューブフレーム】高剛性としなやかさをあわせ持ったフレームの呼称。真に限界性能を高め、走行フィーリングを向上していくためには、フレームをはじめ、フロントフォーク、リアフォークなどの剛性と、フレームの縦、横、捩じれの剛性を高度にバランスさせることが不可欠となってくる。こうした新しい設計思想に基づいて開発されたのが、このフレームである。アルミパイプの断面形状を上下方向に伸ばし、ビボットプレートの肉厚を変更することなどにより、横Gや路面ギャップをフレーム全体でしっかりと、しかもしなやかに受け止めることができた。【台形パワーの進化】各ギヤポジションの追加により、特に1~4速における加速の伸び切りを大幅に向上。8,500rpm~11,750rpm、すなわち約3,250回転にもわたる幅広い回転域でマキシムパワーを發揮することができる。よりフラットなパワーカーブを描くエンジン特性を実現している。一段とコントローラブルになったばかりか、そのどこまでも伸びを感じさせる加速感はまさにワークスマシンをイメージさせるものとなっている。



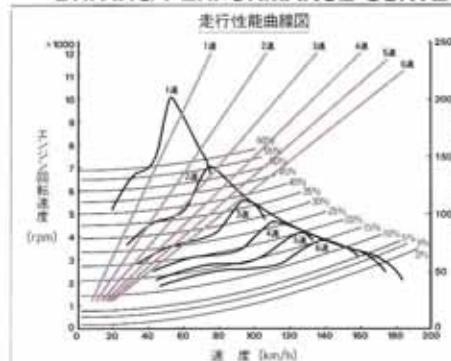
ている。これこそが、マキシムパワーを「点」ではなく「線」として捉えるNSR独自の理念を具体化した、台形パワーの著しい進化である。

【ディメンション】人車一体感をより向上させるための先進的思想。ヘッド・パイプ・ポイントをエンジンの前後・上下方向に近付けてフロント分担荷重を増すとともに、ショートホイールベース化することにより旋回性能を向上。また、上下方向に近付けることにより直進安定性、スタビリティを一層高めることに成功している。【PGM・III】従来のエンジンコントロールシステム、PGM-IIをさらに知能化させたもの。ギヤポジションセンサーの採用により、各ギヤポジションにおいて独立したマップコントロールをもち、1~6速それぞれにエンジン回転数、スロットル開度に応じて点火、RCバルブ、キャブを適切にコントロールする画期的システムである。【V2エンジン】NSRの心臓部。最新のレーシングテクノロジーを投入し、圧縮比アップ(7.3→7.4)、ウォータージャケットの容量アップなどによる冷却性能の向上、掃気・排気ポートタイミングの変更などによるピックアップの向上などを図った。また、クランクシャフトの新設計に代表されるように、各パーツを新たに設計、ほぼニューインジンとも呼べる熟成をすすめた。

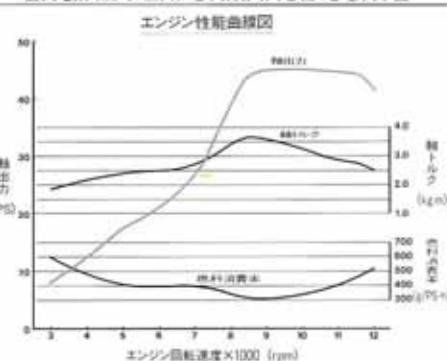
SPECIFICATIONS

型式	MC21	
全長(m)	1.975	
全幅(m)	0.655	
全高(m)	1.060	
軸距(m)	1.340	
最低地上高(m)	0.135	
シート高(m)	0.770	
車両重量(kg)	151	
乾燥重量(kg)	132	
乗車定員(人)	2	
燃費(km/l)	30.2(50 km/h定地走行テスト値)	
最小回転半径(m)	2.9	
エンジン型式	MC16E 水冷2サイクル・クランクケースリードバルブ 90度V型2気筒	
総排気量(cm ³)	249	
内径×行程(mm)	54.0×54.5	
圧縮比	7.4	
最高出力(PS/rpm)	45/9500	
最大トルク(kgm/rpm)	3.7/8500	
キャブレター型式	TA22	
始動方式	キック式	
点火装置形式	無接点式CDIバッテリー点火	
潤滑方式	分離潤滑式(圧送飛沫併用)	
潤滑油容量(l)	2.0	
燃料タンク容量(l)	16	
クラッチ形式	湿式多板コイルスプリング	
変速機形式	常時噛合式5段リターン	
変速比	1速	2.846
	2速	2.000
	3速	1.578
	4速	1.333
	5速	1.190
	6速	1.083
減速比(1次/2次)	2.360/2.666	
キャスター(度)	23°15'	
トレール(mm)	87	
タイヤサイズ	前 110/70R17 54H(ラジアル) 後 150/60R17 66H(ラジアル)	
ブレーキ形式	前 油圧式ダブルディスク 後 油圧式ディスク	
懸架方式	前 テレスコピック 後 スイングアーム(ブロリンク)	
フレーム形式	ダイヤモンド(アルミツインチューブ)	

DRIVING PERFORMANCE CURVE



ENGINE PERFORMANCE CURVE



●走行燃費は定められた試験条件のもとでの数値です。したがって、走行時の気温、道路、車両、整備などの条件により異なります。
●走行燃費測定法による型式認定申請書類。●製造事業者 本田技研工業株式会社



NSR250R

ACCESSORIES

スーパー・ボテンシャルの証し。
NSRアクセサリー。



RHEOS サーキットで培われた技術力で開発。



RR101 RR103 RR104 RR301
08H20-RR1-01W5-X ¥33,900 08H20-RR1-03NM-X ¥39,000 08H20-RR1-04KM-X ¥39,000 08H20-RR3-01KM-X ¥39,000

●カラー:シルバー/ホワイト、ブラック ●カラー:ハイブリッド/ホワイト、ブラック ●カラー:ブラック

■規格:JIS C種、MFJ公認、スカル/85 ■サイズ:M, L, XL(RR101) ■シャスター/ホワイトのみS, M, L, XL ■素材:エアロダイナミクスと安全性、デザイン性を向上させたラッピングサーフェスの筐体 ■内装:吸汗性、フィット感にすぐれたトリコットメッシュを採用 ■シールド:強度を重視した2mm厚の、ポリカーボネートハードコート仕上げ。視界が広くこれる3次曲面タイプ ■シールドカバー:剛性を考慮したスクリュー2本支持方式 ■仕様:25mm幅アゴ紐 ■快適のフルベンチレーションシステム ■ノーズカバー 標準装備(RR101を除く)



メンテナンススタンド

08163-KV310 ¥7,200

クイック&スムーズにリフトアップ。マシンメンテナンスがグッと楽になります。付属のシャフトを使えば、マシンがより一層安定します。



フェアリングプロテクターセット

08144-WW001 ¥1,800 (8個セット)

カワレの特徴を軽減します。シールタイプで取り付けカンタン、スピーディなイメージです。



タンクパッド

08112-KV301 ¥2,500 (取付時間0.1H)

ニーリップを的確にフォローするラバータイプタンクパッド。



スポンサー
ステッカーII

08309-KV300 ¥3,000
サーキットを駆けるワークスマシンのイメージそのままに、カラフルを彩るスポンサーステッカー。



タンクパッドII

08P61-KAZ-010 ¥1,500 (取付時間0.1H)

ファスナーなどによるタンクの損傷を軽減します。また、切り離しても使えるので、応用ができます。



ステッカー
キット

08303-KV320 ¥1,000
自分のチームをアルファベットで入れる。国際マークを貼る。気分はワークスレーサー。

プロテクター
シール

08303-KAF00 ¥1,300
キットバンド(斜売り)などの接触によるカウルの損傷を防ぎます。航空機のコンショングデザインをイメージしたステッカー。

NSR250R

ACCESSORIES



●価格は、1990年1月現在のメーカー希望小売価格です。取付工賃及び消費税は含まれておりません。
●仕様及び価格は、予告なく変更する場合があります。
●当品のカラーは印刷のため、実際と異って見える場合があります。

NSR250 WORLD GP WINNING HISTORY



1985

RIDER'S CHAMPIONSHIPS

- 1 RS250RW (F. SPENCER)
- 2 RS250RW (A. MANG)
- 3 YZR250 (C. LAVADO)
- 4 YZR250 (M. WIMMER)
- 5 RS250RW (F. RICCI)

MAKE'S CHAMPIONSHIP

HONDA

1986

RIDER'S CHAMPIONSHIPS

- 1 YZR250 (C. LAVADO)
- 2 NSR250 (A. PONS)
- 3 NSR250 (D. SARRON)
- 4 NSR250 (A. MANG)
- 5 NSR250 (J. F. BALDE)

MAKE'S CHAMPIONSHIP

HONDA

1987

RIDER'S CHAMPIONSHIPS

- 1 NSR250 (A. MANG)
- 2 NSR250 (R. ROTH)
- 3 NSR250 (A. PONS)
- 4 NSR250 (D. SARRON)
- 5 NSR250 (C. CARDUS)

MAKE'S CHAMPIONSHIP

HONDA

1988

RIDER'S CHAMPIONSHIPS

- 1 NSR250 (A. PONS)
- 2 YZR250 (J. GARRIGA)
- 3 NSR250 (J. CORNU)
- 4 NSR250 (D. SARRON)
- 5 NSR250 (R. ROTH)

MAKE'S CHAMPIONSHIP

HONDA

1989

RIDER'S CHAMPIONSHIPS

- 1 NSR250 (A. PONS)
- 2 NSR250 (R. ROTH)
- 3 NSR250 (J. CORNU)
- 4 NSR250 (C. CARDUS)
- 5 YZR250 (L. CADALORA)
- 6 NSR250 (M. SHIMIZU)

MAKE'S CHAMPIONSHIP

HONDA

*RS250RWはNSR250の旧呼称です。